

第22回伊那市地方創生総合戦略審議会 検討事項

項目	大項目	中項目	検討事項	12月3日 回答	事務局検討結果
1	基本項目①	結婚支援	結婚支援（金銭面）で何ができるかを考えなければならない。	各事業としてすでに実施している事業もあるが、それが外に見えていない、つながっていないものもあり課題に感じる。事業見直しの中でいただいた意見のような視点も入れていきたい。	婚姻に伴う新生活の経済的負担の軽減を図ることを目的に、令和5年度から「伊那市結婚新生活支援事業」で該当世帯を支援している。 ※婚姻日における夫婦の年齢が39歳以下に最大60万円の補助金を交付 【リーディングプロジェクト1】
2	基本項目①	出産支援	出産も費用が掛かる。支援として病院の紹介や相談窓口の設置も効果的ではないか。		妊娠後、母子手帳や妊婦一般健康診査受診票をお渡しする際の健康相談を行っている。 また、高額な出産費用を現金で支払う経済的負担を軽減し、安心して出産していただけるように、出産育児一時金の額を上限として、伊那市国保から医療機関等へ直接支払う「出産育児一時金直接支払制度」が創設されている。
3	基本項目①	子育て支援	子どもを見てくれる両親がいない核家族等に対して対策を。 保育士の数や手当の増加、正規職員の拡充等も大切だと考える。		ママヘルプサービス事業など、時代のニーズに沿ったサービスやサポート体制の充実を図っていく。
4	基本項目①	全般	狭い領域で考えるとなかなか答えは出ないが、市民の声や市職員の声を聴くなど、実際に困っていることを拾い上げてやっていくのがいいのではないか。		「市長と語りた伊那」や各種出前講座、また担当部署での窓口相談や職員へのヒアリングなどでお困りごとをお伺いしながら課題解決に向けた取組を進めていきたい。
5	基本目標①	子育て支援	子どもの関わりについて、市に相談を挙げる中で、複数の部署が絡むと途中で話が途切れてしまうこともある。 横のつながりが上手くいっていない部分もあり、スムーズに支援できる状態を作っていく必要がある。	子どもの関係、福祉の関係等のつながりの部分は市でも課題と感じている。 来年度に「こども部」が創設され、子育て・教育の関係が1つになる。 これまで以上に動きが良くなるような組織になるよう進めていきたい。 総合戦略についても地域創造課が窓口となり、庁内連携に努めていきたい。	左記のとおり
6	基本目標①	結婚支援	結婚について、市内で働く方（特に男性）は出会いの機会がない。 様々なイベントや趣味等の中で関わりを持つ場所が少ない。 こういった課題に対してどのようにしていくのが良いのかを考えていただきたい。	—	いなし出会いサポートセンター運営において結婚相談業務、登録者同士のマッチング、相談員によるフォローアップをするとともに、出会いや交流の場の提供・創出（移住婚の推進、婚活イベント企画、実施）を推進していく。 【リーディングプロジェクト1】
7	基本的視点 施策体系図	経済対策	今回の素々案では「経済縮小対策」の視点が見受けられない。 効果検証をどのようにし、今回、この文言を外したのか。 経済縮小対策をどのように計画に入れたのか。 今後の考え方を聞きたい。	施策体系図は、俯瞰的にどのような構造で総合戦略を構築していくかという点が重要。 第2期は、直面する課題に対し、イメージしやすい2つの対策を基本的視点の柱とした。 第3期では、次のフェーズに入り、5年間様々な事業に取り組んできた。 穴を埋める政策ではなく、より前向きな、価値を高めていく政策をイメージしている。 表現の部分で喫緊の課題対策ではなく、持続可能な社会づくりを切り口に表現を変える。 様々な視点、他の基本目標、リーディングプロジェクト等、今の政策に合致する形に改編する。 具体的な事業を示す中で、紐づけや体系図との合致という点でも検証いただきたい。	第3期では、経済縮小対策という観点ではなく、農業や林業を中心とした産業の振興や新たな雇用の場の創出と人材育成などを推進していく。 【リーディングプロジェクト4】
8	基本目標①	安心安全	安全安心な食の提供は総合的な部分でも非常に重要となってくる。 安心安全な食の提供を全体的な基本的視点から外してしまっても良いものなのか。 改めて検討いただきたい。	—	安全安心な食の提供は重要であることから、農業振興や有機農業産地づくり推進事業などを通じて、食育活動や食の自給いを推進していく。 【リーディングプロジェクト3】 【リーディングプロジェクト9】
9	基本目標②	社会動態	移住者や定住者が増えた要因はどういったことが考えられるのか。 自然というキーワードが大きいと考えているが、こういった部分も基本目標の中に反映されているのか。	特色のある教育・子育てのニーズが高く、都市圏に高く訴求できる魅力となっている。 今後は伊那市の強みをさらに市内外にアプローチできるよう取り組んでいく。 体験型の取り組みが移住サイトでも取り上げられ、内容も非常に良いという意見も多い。 より具体的な体験型イベント等で伊那市を知ってもらい取り組みが重要となる。	左記のとおり
10	基本目標③	循環型社会	食料・水・エネルギーを自給いできる地域づくりは非常に大事なことだと感じるが、相対的な部分で、表現をもう少し考えてもらいたい。	表現の問題は今後、案の中でブラッシュアップしていきたい。	左記のとおり

第22回伊那市地方創生総合戦略審議会 検討事項

項目	大項目	中項目	検討事項	12月3日 回答	事務局検討結果
11	基本目標①	自然動態	合計特殊出生率を1.59としているが、今後の検討の中で具体的な案が出てこない、この設定が最適なのか判断ができない。 今後の具体的な案を基に検討の必要があるのではないかと考える。	5年ごとの将来展望の中で、第3期の計画終期がその中間、狭間にある。 計画達成年度の数値1.59は県民希望出生率を5年間で平均した数字として仮置きしている。 子育てや出産などの政策との兼ね合いの関係で、この数字で良いのかもご検討いただきたい。	左記のとおり
12	基本目標②	賃金	長野県の所定内給与額は全国平均からプラス0.51となっているが、市の状況、傾向を把握できているのか。	市の所定内給与額等、商工関係の数値については、担当課に確認し、改めて提示する。	平成28年度までは県からの調査に応じて賃金実態調査を実施していたが、企業側への負担も大きいこと等から、県の調査廃止に伴い、市単独での調査は実施していない。
13	基本目標②	奨学金	奨学金に関して大学卒業後に数年間勤務すれば返済免除というような取り組みもある。 このような取り組みを把握しているか、検討可能か。	伊那市に居住し、上伊那郡の事業所に就職する方を対象に返還支援をしているが、特定業種に限られるため、次年度に向けて見直しをしていきたい旨の話もある。 このあたりも事業計画には加えていきたい。	詳細については現在検討中だが、令和7年度に向けて奨学金返還支援制度の要件見直しを行う予定となっている。 【リーディング・プロジェクト2】
14	基本目標②	社会動態	中学校のキャリアフェスに参加した子どもが大学を卒業する年代になってくる。 動向としてみていただき、高校等でも取り組んでいるので、施策として加えることは可能か。	社会動態について、キャリアフェスを経験した子どもがこれから社会に出ていく。 現状、具体的な動きとして見えているのはわずかであるが、情報を整えながら審議会でもお伝えしていきたい。	引き続き、キャリア教育を推進していくとともに、キャリアフェスを経験した子どものその後の動きについても情報を整えながら審議会等で共有していきたい。 【リーディング・プロジェクト3】
15	策定の趣旨 計画の位置づけ	表記	表記について、国や県の取り組み等、主語がはっきりしていない部分が見受けられる。 分かりやすく表記してほしい。	見やすい形に整えていきたい。	左記のとおり
16	基本目標③	CO2	基本的視点の観点からみれば、CO2排出量削減の項目はつながりが分かるが、基本目標で「安全で安心して暮らし続ける」という表記が上に来ているため、数値目標をCO2排出量削減とするのはつながりが見えず違和感がある。 数値目標をCO2排出量削減で問題ないが、基本目標の掲げ方等について検討を。	基本的視点、基本目標、数値目標のつながり、関連性が分かりやすくなるよう修正していく。	基本目標③の数値目標を「就業者数 35,000人」に修正した。 合わせて、持続可能な伊那市の未来を築く取組の推進に向けた具体策として、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換など、大量生産・大量消費から循環型社会への転換に向けた取組を推進していく。 【リーディングプロジェクト9】
17	基本目標②	住宅	移住者によって経済力が異なる。 移住者向けのお試し住宅を整備する中で、利用期間を限定するのではなく、経済力に応じて、その先は賃貸住宅として利用形態を変化させる、経済力がある方には分譲住宅を用意する等の対応が必要ではないか。	（富山会長）事務局は検討、対応すること。	来年度以降、モデル地域等を対象に民間事業者の宅地造成に対する補助、入居者の家賃に対する補助を行っていく予定である。宅地造成後、民間事業者による賃貸住宅や分譲住宅の建設を促進することで、様々な経済力の方が住みやすい環境を整えていく。 【リーディング・プロジェクト6】
18	基本目標②	住宅	空き家を市が買い取り、宅地開発や分譲住宅をつくる施策等も必要ではないか。 今後、具体的な施策を提示いただく中で、計画に盛り込んでいただきたい。	（富山会長）事務局は検討、対応すること。	上記補助の他、空き家については、引き続き空き家バンク事業等を推進し、空き家の利活用を促していく。 【リーディング・プロジェクト6】
19	基本目標②	観光	外国人の観光客が増えてきているが、伊那市内の交差点等には日本語以外の案内標記が少ない。 外国語の案内標記を増やすべきではないか。	（富山会長）事務局は検討、対応すること。	担当課にも共有し、必要に応じ各事業の中で検討していく。
20	基本目標②	伝承	働く場所として、昔から受け継がれている職人芸の後継者が減ってきている。 伊那市に残すべき職人芸を継承する移住者や若い方を探すことで移住者の定住につながるのではないか。	（富山会長）事務局は検討、対応すること。	高齢者の知恵袋事業や地域おこし協力隊事業などを通じ、職人芸や高齢者の知識・技術の次代への伝承に向けた取組や、移住者や若者世代の移住・定住施策の一つの取組として推進していく。 【リーディングプロジェクト5】 【リーディングプロジェクト6】 【リーディングプロジェクト7】
21	基本目標②	しごと	アルバイトをしながら旅をすることができる取り組みがある。 伊那市も桜の時期の高遠城址公園や、農業・牧場等のお手伝いとしてアルバイトを募集し、地域外から人を呼び込むことで、伊那市のPRや将来の子どもの働き方の選択肢も増えるのではないか。	市でも体験事業等を実施しているが、特に大学生や学生向けという視点でやっているものは少ないため、そういった視点も持ちながら進めて行きたい。また、青年会議所等とも連携を取りながら事業に取り組んでいきたい。	市で体験事業等を実施している「ふるさとワーキングホリデー」や、農家民泊事業者などとの連携により学生や若者に向けた魅力ある事業の推進を図っていく。 【リーディングプロジェクト5】